

[研究名]

Osteoporosis treatment in patients with vertebral fractures identified on reconstructed sagittal images from 3D chest and abdominal CT: focus on post-gastrectomy gastric cancer cases

胸部及び腹部3DCTからの再構成矢状断画像で同定された椎体骨折を有する患者における骨粗鬆症治療：
胃切除術後の胃癌症例に焦点を当てて

[研究責任者]

香川県立中央病院 リハビリテーション科 診療科長 本田 透

[研究の対象・方法]

2017年9月～2023年2月に当院で胃癌のために胃切除術を受けた患者さんのうち、研究責任者がリハビリテーションを行った患者で、胸部・腹部のCT検査で椎体骨折が見つかるかたについて、主治医に相談して骨粗鬆症の治療をお勧めしました。この骨粗鬆症の治療の対象となった患者さんの、骨粗鬆症治療の継続率や骨密度の変化、新規骨折の発生率、活動レベルや生命予後などを調査し、この治療法の有用性を検討します。

治療成績等を検討することは、今後の治療の質的な向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333（代表）